

I n t e r v i e w

D X推進にはI T活用が欠かせないが、I T活用と同時に増えるのがセキュリティリスクだ。サイバー攻撃による脅威は極めて深刻で、その被害は大規模企業だけでなく、中小企業も標的となる。サクサホールディングス(港区)は、情報システム部門のない中堅・中小企業に向けて、安心・安全・快適・便利なオフィス空間を実現する製品・サービス群「Office AGENT」シリーズを提供。成長戦略に位置付ける丸井武士代表取締役社長に狙いを聞いた。



サクサホールディングス
代表取締役社長

丸井 武士氏

「Office AGENT」の戦略を伺いたい。

「当社は創業から情報通信機器の製造・販売を手掛け、とりわけオフィスに設置されるビジネスホンなど幅広い商品を取り扱っている。電話だけでなく、サイバー攻撃などのリスク特定、防御、検知、対応、復旧までを網羅するプロダクトとサービスを提供していることも特長だ。D Xが企業に重要な戦略となる中、D X化支援も組み合わせ、付加価値の高いサービスを提供

する」

中堅・中小企業

「中堅・中小企業では社内に専門のエンジニアを抱えていないことが多く、課題ごとに専門業者にI Tサポートを依頼するのが一般的だ。当社では『次世代情報セキュリティ対策』『次世代ワークスタイル変革』『次世代コミュニケーション活用』の三つの観点から、中堅・中小企業の業務におけるD X化を支援する製品・サービス群を『Office AGENT』

シリーズとして提案している」

「建設現場での提案事例を知りたい。」

「不動産・建設業はコアタリゲットに位置付ける。当社ではAIを活用し、手の動きなどジェスチャーを認識することで相手とのコミュニケーションを円滑にする映像システムを開発している。こうした画像認識技術の活用は人と人とのコミュニケーションの場面だけではなく、駐車センサーカメラを通して、駐車場の時間帯ごとの利用状況やナ

業務のD X化を支援

「今後の展開をどう描いているか。」

「製品を世に送り出すだけの存在ではなく、企業や従業員の成長をサポートできるパートナーであるべく、建設企業との連携にも積極的に取り組みたい。人材不足などI T設備への投資が難しい中堅・中小企業の課題をトータルでサポートし、変化に強い企業への成長をI Tで後押ししたい」(ビジネス開発事業部 大西正太)

の施策では『書類の電子化』

『顧客管理(名刺管理を含む)』『情報セキュリティ対策』『勤怠管理』との回答が多く、それぞれ半数近くに達した。人手不足が深刻化する建設業界では、D Xを通じた生産性向上や業務効率化が急務だ。D Xを導入する企業が増える一方で『D Xに取り組んでいない』との回答も72・9%あった。予算不足や人材不足もあり、多くの中小企業ではD X化に着手することが難しい状況が続いている」